

保育パート ニュース

あなたの声を組合へ

2025.12.23

No. 518

全日本建設交通一般労働組合保育パート支部

名古屋市市中川区宮脇町2-99-2

TEL(052)353-8404

E-mail hoikupart@circus.ocn.ne.jp

女性・非正規・ジェンダー平等

ともに学び合い・交流

今年11月には非正規労働者や働く女性の集い等、共通の課題を持つた多くの仲間と学び、交流する機会が訪れました。集いの中で、保育パートの抱えている問題を壇上から発言することもできました。今回のニュースでは、それぞれの集いの内容を報告します。

文字どおり 「元氣の出る」集まりに

パート・臨時・非正規 元氣の出る集い

11月16日、労働会館にて「第28回パート・臨時・非正規などの元氣の出る集い」が開催されました。

の集いの「ここが変えたい」という熱い思いがリレー方式で報告されました。建交労保保育パート支部からは、書記次長の近藤由理子さんが、週の労働時間が15.5時間未満は一時金支給がなく、同じパート内にも差別が生じている問題について、「一時金をもらっていない人、そうでない人の年収を時給換算すると5000円程度の差になる。同じ時間帯に働いていても週の労働時間の違いで、こんなに格差がある」と、悔しい思いとともに実情を訴えしました。

吉澤ディレクターの 取材映像見ながら

後、フリーランスの映像ディレクターである吉澤美和さんから「非正規ディレクターの私が、一緒に話したいこと」の200人雇い止め問題取材して「〜と題した講演がありました。

製作に携われた映像を見ながら、非正規・ジェンダーの問題を参加者と一緒に考え、語り合いました。

仲間と一泊に 立ち上がるが本音

吉澤さんからは「非正規パートは地域と密着している。職場では情報としてても存在を大切にすべき」「運動を続けて一歩ずつ変えてきたこと、仲間とどれだけ一緒に立ち上がるか、が大事だ」との熱い思いも語られました。

「追記」
「支え合う仲間がいて、すばらしい」と
「吉澤さんと懇談会」

インフルエンザで休む時(病欠)

診断書以外でも 申請できます

(2026年1月1日より)

＜申請時の添付書類＞

下記①②のいずれかがあれば「医師の診断書」がなくても取得可能です。

- ① 自ら体外診断用医薬品として承認された抗原検査キットで検査した場合のその画像
- ② 職員名・インフルエンザであること・陽性となった日にち・医療機関名の4点が確認できる書類
(薬袋・お薬手帳・処方書では取得できません)

＜取得期間＞

発症日の翌日から起算して連続5日間(週休日・休日を含まず)が上限。6日目以降も取得する場合は「医師の診断書」が必要です。

※ 詳細は図を 確認してください。

吉澤さんは5月に全国放送されたNHKスペシャル「雇用機会均等法40年 未完のバトン」の中で、保育パートの仲間1200人が年度末に一斉雇い止めとなった問題を取り上げ、6月には名古屋放送局の情報番組「まるっと」でも、組合と保育運営課との折衝の前後も取材されました。

集いの後、吉澤さんを囲んで交流会をしました。17人の参加があり、軽食・飲食しながらワイワイと過ごし、とても賑わいました。吉澤さんが最後に「皆さんには組合の仲間がいて、一緒に支え合っていくことができる。これは素晴らしいこと。私もいざ、皆さんのように、ともに闘う仲間ができてほしいなと思う」と語っていました。改めて、吉澤さんは素晴らしい人だなと思いました。とても楽しい時間でした。
(森田 長縄 いざ枝)
(中沢段味 満田由美子)

12年ぶり愛知で

いのち、くらし、人権・平和を守る
多くの仲間たちとともに

第70回はたらく女性の中央集会

11月29日、30日、「はたらく女性の中央集会」が愛知で開催されました。1956年に東京で第1回集会が開催され、今年が第70回。愛知での開催は12年ぶりです。

＜分科会＞
ドイツに学ぶ
「短時間正社員」という働き方

1日目の分科会の中の第3分科会「ドイツに学ぶ、正規化して働き方をなくさず」に参加し、筑波大学の田中洋子さんの講座を聞きました。

「ジェンダー平等」と公平な社会を私たちの手で／人権が守られ、国際水準で安心して働きたい／戦後80年、憲法生かし、いのち、くらし、平和を守ろう」のメインスローガンのもと、1日目は4つの分科会・2つの見学分科会、2日目は全体会で、記念講演、文化行事、基調報告、にたいの交流等が行われました。

連立労からは受付、道案内、物産展の販売等の要員も含め、のべ34人が参加しました。

近年ではGDPで日本がドイツに抜かれていいます。その要因の一つとして、ドイツに広く根付いている短時間正社員という働き方が影響している可能性があります。あると感じました。

働き方を自由にカスタマイズでき、正規・非正規にかかわらず、多様な働き方が尊重される社会に強く魅力を感じました。

講座の最後には、家賃・カー・IKEAの取り組み紹介され、とてもわかりやすい内容でした。

(中島 安海 英由美)

＜全体会＞
ハラスメント、DVの本質を学ぶ

2日目の全体会では、弁護士岡村晴美さんの記念講演「戦後80年、ジェンダー平等で暴力のない社会へ」司法の現場から語られました。

ハラスメントの本質は自己保身の正当化、DVは加害者が相手の自由や権利を奪い、支配する行動であり、職業代不払いも経済的暴力だと説明されました。

民法が改正され、父母の離婚後の子の養育に際し、共同親権制度が導入されます。

DV・虐待・子どもの拒否が軽んじられているという問題を指摘されました。

点々を指摘されました。



全体会会場は山崎山崎がスピーチしました

11月9日、

東別院会館にて第70回愛知母親大会に参加しました。

参加者のバイタリティーある雰囲気は印象的でした。

オープニングの高校生の津軽三味線はとてもステキで、聞きなじみの曲ばかりだったので、拍手や歓声が絶えませんでした。

その後の活動交流では、横断幕を持ち、スピーチをしながら、子育て支援センターの話を伺いました。

話のところで、「私達のあきらめない組合の力で採用枠を

その後、たいかいの交流では参加各団体が横断幕やのぼりを持って壇上に並び、それぞれの要求を短く順番にスピーチ。保育パート支部も「5年公募廃止」を訴えました。

韓国の労働組合の仲間、参加韓国語で「頑張ろう」と一斉に声を上げ、大きな連帯の拍手に会場が包まれました。

(編集部 松岡)

保育パート支部の
あきらめない力に
拍手がっさい

第70回愛知母親大会

雨の中でしたが、会場は定員の460人満席で、オンラインをあわせると、600人以上の参加だったそう

最初の参加でしたが、活動交流では、横断幕を持ち、スピーチをしながら、子育て支援センターの話を伺いました。

話のところで、「私達のあきらめない組合の力で採用枠を

その後、たいかいの交流では参加各団体が横断幕やのぼりを持って壇上に並び、それぞれの要求を短く順番にスピーチ。保育パート支部も「5年公募廃止」を訴えました。

韓国の労働組合の仲間、参加韓国語で「頑張ろう」と一斉に声を上げ、大きな連帯の拍手に会場が包まれました。

(編集部 松岡)

おしらせ

- ▽ 愛知連女性協「新卒のつどい」
・2026年1月12日(月・祝) 13:30～
労働会館 本館(金山)
・講演「夫婦別姓 その未来へ」
～ジェンダー×家族を語ろう～
講師 田村哲樹 さん(名大教授受)
※詳細はチラシをご覧ください
- ▽ 連立労会館の休館
・12/27(土)～2026年 1/4(日)
※1/26(金)は大そうじ
- ▽ 連立労会議(臨時大会)
・2026年3月1日(日) 10:00～
愛知民主会館(新栄)
※組合費の見直し(上げ下げ)を提案し決定します。
- ▽ 12月10日に一時金が支給されました。
詳細は次のニュースでお知らせします。